

<p>【イベント名】 第13回 インドネシアとの神経内科カンファレンス</p>	<p>【概要】 インドネシアとの神経内科カンファレンスは、参加者同士で神経免疫学の症例を共有することができる公開討論の場である。この活動は教育を目的とするだけでなく患者や病院にとっても非常に有益なものとなっている。特に九州大学病院の吉良教授には、難しい症例に対して多くの意見を頂きとても感謝している。また、TEMDECのこのカンファレンスの開催におけるサポートにも感謝したい。</p>
<p>【期日】 2018.06.06</p>	
<p>【会場】 インドネシア大学 (インドネシア), サムラトランギ大学 (インドネシア), ガジャ・マダ大学 (インドネシア), ブラウィジャヤ大学 (インドネシア), スリウィジャヤ大学 (インドネシア), セベラス・マレット大学 ムワルディ病院 (インドネシア), アイルランガ大学 (インドネシア), 九州大学病院 (日本)</p>	
	
<p>モニタに表示される接続施設。</p>	<p>セベラス・マレット大学 ムワルディ病院の様子。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：セベラス・マレット大学 ムワルディ病院</p>
	
<p>提示された画像。</p>	<p>ガジャ・マダ大学の様子。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：ガジャ・マダ大学</p>
	
<p>インドネシア大学の様子。</p>	<p>ブラウィジャヤ大学の様子。</p>
<p>撮影場所：インドネシア大学</p>	<p>撮影場所：ブラウィジャヤ大学</p>